

# 第9回神奈川産学チャレンジプログラム

## 本学から最多75チームが参加 6チームが最優秀賞受賞

神奈川県内の大学と(社)神奈川経済同友会に所属する企業・団体による産学連携の課題解決型研究コンペ「第9回神奈川産学チャレンジプログラム」の表彰式が12月20日、神奈川県民ホールで開かれた。今回は32企業から40チームが参加、本学は参加大学中最多の75チームが参加し、6チームが最優秀賞、17チームが優秀賞を受賞した。



商・熊倉広志ゼミ



商・大崎恒次ゼミ

### “理論と研究”が結実

入澤和輝代表、荻原穂、川嶋紗也香、3年次課題「若年層を取り込むための金融サービス」(川崎信用金庫) スマートフォン用アプリ「ワンクリック預金」と、アンケート効果に基づいて考案した「未来定期預金」の2つのサービスを提案しました。熊倉先生からはプレゼンについて、ゼミのみんなからは提案について意見をもらい、それらを参考に、より良い提案を目指しました。また、理論を用いて説明すること、企業研究を行うことを重視したことで、提案の説得力が生まれ、受賞につながったと思います。

### 街を考えるSNS提案

岩田佳子代表、藤田果凡、清野廉、4年次課題「新聞社に提供すべき新たな情報サービス・企画などビジネス展開策」(神奈川新聞社) 新聞社と購読者をつなげることを目的に、街に新しいSNSを提案しました。利用者は駅周辺に街灯がほしい、周りが住む街について、自分が住む街について、問題や疑問を話し合う場としてSNSを活用し、新聞社はその声を社内で情報サービスとして展開する、といったものです。就職活動と並行して課題に取り組み、大変でしたが、消費者行動やマーケティング知識といった普段学んでいることを生かすことができました。



経営・田口冬樹ゼミ



経営・森本祥一ゼミ

### 苦労克服し大きく成長

菊地唯芳代表、村田里奈、鈴木美姫、大内美沙、3年次課題「ホテルウェディング需要を活性化するための新提案」(横浜ロイヤルパークホテル) 「記憶に残る記念日」をコンセプトに、新しいホテルウェディングの形を創造し、多様化する消費

### 買い物にゲーム形式を

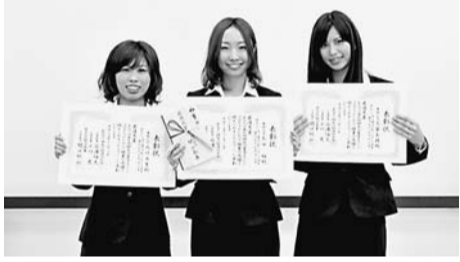
齋藤郁海代表、庄司拓斗、細矢ひかる、村上貴俊、3年次課題「リアル店舗との相乗効果が発揮できるインターネット通販サービス」(京急百貨店) ゼミで「経営におけるITの活用」を研究している中、ゲーム形式を取り入れることで、相乗効果に加え、斬新性を打ち出すことができました。



商・山内暁ゼミ

### チームと“個の力発揮”

吉田開代表、仁科和也、高梨真衣、石原愛美、3年次課題「アジアリフォーム市場への進出プラン」(ヨコソー) 韓国を進出先に選び、現地学生へのアンケートを通して得た住宅意識の違いを考慮した実現性の高いプランを提案しました。



商・大崎恒次ゼミ

### 力注いだプレゼン方法

太田紬代表、志賀美穂、北川由季、4年次課題「卓上醤油の新しい売り方提案(醤油の形状・容器・使い方等)」(関口商事) メンバー全員が商品開発に興味を持っていたため、この課題を選択し、既存にはないペースト状の醤油を考案しました。

## 優秀賞は17チーム



経営・馬場杉夫ゼミ(上澤舜代表)



商・国田清志ゼミ(末永聖和代表)



経営・矢澤清明ゼミ(濱宇津尚央代表)



商・高橋義仁ゼミ(前田翔太代表)



経営・矢澤清明ゼミ(馬場凌太代表)



商・渡辺達朗ゼミ(柳田浩明代表)



商・碓朋子ゼミ(赤木一平太代表)



商・熊倉広志ゼミ(石田誠代表)



経営・森本祥一ゼミ(坂本結佳代表)



商・生田目崇ゼミ(片野田佳祐代表)



商・碓朋子ゼミ(青島翔代表)



商・熊倉広志ゼミ(佐藤奈津美代表)



経営・森本祥一ゼミ(石坂真里奈代表)



商・迫水奈都子グループ



商・碓朋子ゼミ(大場龍之介代表)



商・潮幸典グループ



経営・関根純ゼミ(西尾友里代表)